

商品名 クラビット細粒10% 医薬品基本情報

薬効	6241 ビリドンカルボン酸系製剤	一般名	レボフロキサシン水和物細粒（2）
英名	Cravit	剤型	細粒
薬価	43.80	規格	100mg 1g （レボフロキサシンとして）
メーカー	第一三共	毒劇区分	

クラビット細粒10%の効能・効果

慢性膿皮症、リンパ管炎、リンパ節炎、ざ瘡＜化膿性炎症を伴うもの＞、深在性皮膚感染症、表在性皮膚感染症、(外傷、熱傷、手術創)の二次感染、咽頭炎、急性気管支炎、喉頭炎、肛門周囲膿瘍、乳腺炎、肺炎、扁桃周囲炎、扁桃周囲膿瘍、扁桃炎、慢性呼吸器病変の二次感染、外耳炎、顎炎、化膿性唾液腺炎、結核症、子宮内感染、コレラ、歯冠周囲炎、子宮付属器炎、歯周組織炎、腎盂腎炎、胆管炎、炭疽、胆嚢炎、中耳炎、腸チフス、尿道炎、肺結核、麦粒腫、パラチフス、バルトリン腺炎、副睾丸炎、副鼻腔炎、ブルセラ症、膀胱炎、瞼板腺炎、野兔病、涙嚢炎、感染性腸炎、精巣上体炎、ペスト、Q熱、前立腺炎＜急性症＞、前立腺炎＜慢性症＞、子宮頸管炎

クラビット細粒10%の使用制限等

1. 類薬で過敏症の既往歴、本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 〈炭疽等の重篤な疾患〉妊婦又は妊娠している可能性、〈炭疽等の重篤な疾患〉小児等	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	相対禁止
3. 腎機能低下	記載場所	用法・用量
	注意レベル	注意
4. 腎機能障害	記載場所	重大な副作用
	注意レベル	注意
5. 痙攣性疾患又はその既往、てんかん又はその既往、類薬で過敏症の既往歴、虚血性心疾患、重篤な心疾患、不整脈、重症筋無力症、大動脈瘤の家族歴、大動脈解離の家族歴、大動脈瘤又はその既往、大動脈解離又はその既往、マルファン症候群、大動脈解離のリスク因子を有する、大動脈瘤のリスク因子を有する、腎機能障害、血液透析、CAPD、持続的外来腹膜透析	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

クラビット細粒10%の副作用等

1. ショック、アナフィラキシー、紅斑、悪寒、呼吸困難、中毒性表皮壊死融解症、Toxic Epidermal Necrolysis、TEN、皮膚粘膜眼症候群、Stevens－Johnson症候群、痙攣、QT延長、心室頻拍、Torsade de pointes、急性腎障害、間質性腎炎、劇症肝炎、肝機能障害、黄疸、嘔気、嘔吐、食欲不振、倦怠感、そう痒、汎血球減少症、無顆粒球症、発熱、咽頭痛、ヘモグロビン尿、溶血性貧血、血小板減少、咳嗽、胸部X線異常、好酸球増多、間質性肺炎、好酸球性肺炎、偽膜性大腸炎、血便、重篤な大腸炎、腹痛、頻回の下痢、筋肉痛、脱力感、CK上昇、血中ミオグロビン上昇、尿中ミオグロビン上昇、急激な腎機能悪化、横紋筋融解症、低血糖、低血糖性昏睡、アキレス腱炎、腱断裂、腱障害、腱周辺の痛み、浮腫、発赤、錯乱、せん妄、抑うつ、精神症状、過敏性血管炎、関節痛、紫斑、斑状丘疹、白血球破砕性血管炎、重症筋無力症悪化、大動脈瘤、大動脈解離、末梢神経障害、しびれ、筋力低下、痛み	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
2. 過敏症、蕁麻疹、光線過敏症、幻覚、錐体外路障害、ぼんやり、しびれ感、頻尿、尿閉、無尿、尿蛋白陽性、BUN上昇、口内炎、舌炎、味覚消失、視覚異常、無嗅覚、嗅覚錯誤、低血圧、頻脈、高血糖、筋肉痛、発熱、関節障害、発汗、胸痛、脱力感、倦怠感	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
3. 発疹、そう痒症、めまい、不眠、頭痛、傾眠、振戦、意識障害、血尿、クレアチニン上昇、ALT上昇、LDH上昇、AST上昇、肝機能異常、γ-GTP上昇、血中ビリルビン増加、ALP上昇、白血球数減少、好酸球数増加、好中球数減少、血小板数減少、リンパ球数減少、貧血、悪心、嘔吐、下痢、腹部不快感、食欲不振、腹痛、口渇、腹部膨満、胃腸障害、消化不良、便秘、味覚異常、耳鳴、動悸、胸部不快感、CK上昇、四肢痛、関節痛、咽喉乾燥、尿中ブドウ糖陽性、熱感、浮腫	記載場所	その他の副作用
	頻度	5%未満
4. 重篤な肝機能障害	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
5. 大動脈瘤、大動脈解離、QT延長、胚死亡率増加、胎仔死亡率増加、化骨遅延、発育抑制、骨格変異出現率増加、関節異常、腱障害	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明

クラビット細粒10%の相互作用

1. 薬剤名等：副腎皮質ホルモン剤	発現事象	腱障害のリスクが増大	投与条件	-
	理由・原因	-	指示	相対禁止
2. 薬剤名等：スルホニルウレア系薬剤投与中	発現事象	低血糖、低血糖性昏睡	投与条件	-
	理由・原因	-	指示	注意
3. 薬剤名等：インスリン製剤投与中等	発現事象	低血糖、低血糖性昏睡	投与条件	-
	理由・原因	-	指示	注意

4. 薬剤名等：フェニル酢酸系非ステロイド性消炎鎮痛薬

発現事象	痙攣	投与条件	-
理由・原因	中枢神経におけるGABAA受容体への結合阻害が増強	指示	注意

5. 薬剤名等：プロピオン酸系非ステロイド性消炎鎮痛薬

発現事象	痙攣	投与条件	-
理由・原因	中枢神経におけるGABAA受容体への結合阻害が増強	指示	注意

6. 薬剤名等：アルミニウム含有の制酸薬

発現事象	本剤の効果が減弱	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤とキレートを形成し、本剤の吸収が低下	指示	注意

7. 薬剤名等：マグネシウム含有の制酸薬等

発現事象	本剤の効果が減弱	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤とキレートを形成し、本剤の吸収が低下	指示	注意

8. 薬剤名等：鉄剤

発現事象	本剤の効果が減弱	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤とキレートを形成し、本剤の吸収が低下	指示	注意

9. 薬剤名等：クマリン系抗凝固薬

発現事象	作用を増強しプロトロンビン時間の延長	投与条件	-
理由・原因	ワルファリンの肝代謝を抑制、又は蛋白結合部位での置換により遊離ワルファリンが増加	指示	注意

10. 薬剤名等：QT延長を起こすことが知られている薬剤

発現事象	QT延長	投与条件	-
理由・原因	QT延長作用が相加的に増加	指示	注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『DIR』